

議員提出第7号議案

第84回国民体育大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成30年9月26日

提出者

浅野俊雄	細田重雄	佐々木雄三
成相安信	福田正明	森山健一
洲浜繁達	原成充	五百川純寿
岡本昭二	絲原徳康	小沢秀多
大屋俊弘	中村芳信	田中八洲男
園山繁子	尾村利成	白石恵子
角智隆	中島謙二	池田成一
須山勇	平生越俊	山根浩力
加藤常義	高橋雅彦	岩遠藤野見
藤山誉美	吉田雅陽	吉高和康
田中明		

(別紙)

第84回国民体育大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図ることを目的として開催されており、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に大きく寄与してきた。

本県においては、昭和57年に「このふれあいが未来をひらく」をスローガンに第37回国民体育大会「くにびき国体」を開催した。本県選手団の活躍や県民総参加で大会を支えた誇りと自信は、明るく豊かな島根を築く原動力となり、その後の県勢発展に大きな影響を与えた。

国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を本県に招致することは、競技スポーツの振興はもとより、障がいの有無にかかわらず多くの県民がスポーツに親しみ、県民の連帯感や郷土意識を醸成するとともに、スポーツの持つ力で地域の活性化を図り、また、本県の持つ魅力を全国に発信するためにも、大いに意義のあるものである。

よって、本県議会は、平成41年の第84回国民体育大会[本大会]（スポーツ基本法の一部を改正する法律（平成30年法律第56号）の施行後の国民スポーツ大会）及び第29回全国障害者スポーツ大会を本県に招致することを強く要望する。

以上、決議する。

平成30年9月26日

島根県議会

【平成30年9月26日原案可決】